

# 千葉市立病院改革プラン(第5期:令和4~6年度)(案)に対する ご意見の概要とそれに対する市の考え方

※ ご意見については趣旨を損なわない範囲で要約・編集させていただきました。

No	該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
1	第1章 1	第5期の文章において、第4期と比較して変わったところは、累積欠損金が69億円から74億円に増加したこと、房総半島台風発災と新型コロナウイルス感染症関連を追加したことだけです。第5期病院改革プランとして提示する目新しい内容は無く、『第5期プランを指針として、市立病院に求められる総合力の強化と病院経営の改革に職員一丸なっており取り組む』と述べているだけである。ただ頑張りますだけでは、『改革』は不可能だと推察できます。そもそも『改革』ではなく、『健全化』という言葉で十分だと思います。	第4期プランにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受ける前の令和元年度では、同プランの様々な取組みの成果により、概ね目標値を達成することができました。 新型コロナウイルス感染症による医療環境の変化に対応しながら、病院経営を「持続発展」させるには改革の取組みを持続していくことが重要と考えております。 今までの改革の取組みを止めない、緩めない、継続していくという趣旨から「改革プラン」としています。	—
2	第2章 2(3)	『患者への丁寧な説明や意思尊重など患者と医療者が協働しつづ』と記載されています。 先ず、協働ではなく共同という漢字が適当だと思います。 次に、意思の尊重とは、患者の意思だと思いますので、『患者への丁寧な説明や患者の意思の尊重など患者と医療者が共同しつづ』が読みやすい文章だと思います。	前段については、協働という言葉に患者と医療職員が治療という目的のために対等の立場で協力して共に働く(行動する)という意味を込めております。 後段については、ご意見のとおり修正しました。	修正
3	第2章 2(4)	2項目の冒頭に1と同様『職員』を追加し、『職員が仕事と家庭生活の両方が充実できるよう、』としたほうが分かりやすい。	ご意見のとおり修正しました。	修正
4	第3章 1(2)	『なお、経常収支では計画値を達成しています』との記載があります。繰り返しのようになって、P.4のAに記載されている、達成できた要因を簡単に記載すべきと考えます。	ご意見のとおり修正しました。	修正
5	第3章 1(3)	『100床あたりの職員数は、公立病院平均と比較して多いものの、政令市病院と比較すると特段多い水準ではない』と記載しています。 先ず、何故公立病院平均よりも千葉市を含む政令指定都市の職員数が多いか説明願います。 次に、医療に直接関与しない(4)事務部門が公立病院平均並みで、他の政令指定都市よりも多いのか(特に海浜病院が)説明願います。	公立病院平均に比べて、千葉市を含む政令指定都市の病院は、手厚い医療を必要とする患者が入院する高度急性期病床や急性期病床の割合が多く、100床あたりの職員数が多くなっていると推察しています。 次に事務部門には、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士などの人数も含んでおり、平成27年度以降、患者の相談体制の充実を図るため、増員を行ってきました。一般的に事務部門の職員は、病床数の多寡によって必要職員数が大きく増減することはないため、病床数が少ない病院ほど100床当たり職員数が増える傾向にあります。	—
6	第3章 2(3)	病院事業の課題として、(3)医師の働き方改革の推進を掲げられております。非常に重要なことだと思います。ただし、働き方改革は医師だけでなくその他の部門職員に対しても必要です。特に看護職員に対しては必要と思います。	医師については、法規制の導入による新たな課題であるため、本項に掲げました。働き方改革は職種を問わずに重要なことと認識しており、医師以外の職種については、第4章4(4)イ記載のとおり、引き続き取り組んでいきます。	—
7	第4章 1	第5期病院改革プランとして掲げている4つの視点は、第4期プランの骨子(4つの視点)である『経営の健全化』、『市民が必要とする医療の提供』、『安全・安心な医療の提供』、『持続・発展のための人材の充実』に対し、2番目の『市民が必要とする医療の提供』を『患者サービスの向上と広報充実』に置き換えただけです。これで改革プランと言えるでしょうか？	第4期プランにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受ける前の令和元年度では、同プランの様々な取組みの成果により、概ね目標値を達成することができました。 新型コロナウイルス感染症による医療環境の変化に対応しながら、病院経営を「持続発展」させるには改革の取組みを持続していくことが重要と考えております。 今までの改革の取組みを止めない、緩めない、継続していくという趣旨から「改革プラン」としています。 第4期プランの第4章4(2)市民が必要とする医療の提供(取組No15)については、第5期プランにおいては第4章2(2)市立病院の果たすべき役割に集約しました。	—
8	第4章 2(2)	強みがある分野の取組内容の記述で、中段に、『炎症性腸疾患に関しては特定疾患申請件数が千葉市内で大学に次いで多く』とありますが、この『大学』は何を指しますか？千葉大学病院、それとも単に大学病院？	千葉大学医学部附属病院に修正しました。	修正
9	第4章 3	冒頭、『原則として第4期プランにおける具体的な取組みは第5期プランにおいても踏襲し、継続して経営改善に取り組む』と記載されています。一方、P.17においては『改革プラン』と銘打っています。矛盾を感じます。また、第4期プランの(2)市民が必要とする医療の提供に対して、第5期プランにおいて(2)患者サービスの向上と広報充実へ置き換えたこと理由が記述されていません。	第4期プランにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受ける前の令和元年度では、同プランの様々な取組みの成果により、概ね目標値を達成することができました。 新型コロナウイルス感染症による医療環境の変化に対応しながら、病院経営を「持続発展」させるには改革の取組みを持続していくことが重要と考えております。 今までの改革の取組みを止めない、緩めない、継続していくという趣旨から「改革プラン」としています。 第4期プランの(2)市民が必要とする医療の提供(取組No15)については、第5期プランにおいては第4章2(2)市立病院の果たすべき役割に集約しました。	—

10	第4章 3	『患者満足度の向上や、ホームページ等の広報充実や市民公開講座等の開催の充実等により市民に選ばれたため情報発信に取り組んでいくことで、「患者サービスの向上と広報充実」を図ります。』は、読みにくい文章となっています。改善を望みます。 例えば、『患者満足度の向上を行うと共に、ホームページ等広報充実や市民講座等の開催充実を行うことなどにより情報発信に取り組み、市民に選ばれた病院になるための「患者サービスの向上と広報充実」を図ります。』が適切かと思えます。	ご意見を踏まえ、「市民に選ばれた病院となるため、「患者満足度の向上」を行うとともに、「ホームページ等の広報充実」や「市民公開講座等の開催の充実」を行うことなどにより情報発信に取り組み、「患者サービスの向上と広報の充実」を図ります。」に修正しました。	修正
11	第4章 4(2)	P.32の第5期プラン具体的取組み一覧によれば、取組No11『ICTを活用した患者サービスの向上』は新規です。他と同様に新規を記載してください。	ご意見のとおり修正しました。	修正
12	第4章 4(4)	取組No17『職員満足度の向上』の職員とは、どの職種（P.14の表『病床100床当たりの職員数』に記載されている内訳）に該当するのか説明してください。 また、この取組の主な項目において『長時間労働の改善等、職員の働き方草に取り組みます』と記載されています。一方、P.40の取組No19において、『医師の労働時間短縮に向け、他職種へタスクシフト・タスクシェアを検討する』と記載しています。医師とその他職員に対する長時間労働対策に矛盾を感じますがいかがでしょうか。	職員とは、病院局の全職員を指しています。 タスクシフト・タスクシェアは、医師の労働時間短縮のため、取り得る方策の一つと考えておりますが、働き方改革は、病院全体で取り組む課題であり、影響を受ける他職種の労働環境にも十分考慮して、人員配置なども含め、検討していきます。 なお、概要版の15ページ(⑩職員満足度の向上の項)にも「職員の働き方改革」を明示しました。	修正
13	第4章 5	12の意見に関連しますが、医師の働き方改革及び看護職員や医療技術職員の働き方改革は、看療職員や医療技術職員の増で対処するという方針であるとの理解でよろしいでしょうか？ もし、そうであるならば取組No17とNo19にはその旨を記載すべきだと思います。 なお職員の増員に反対する意見ではないことを付け加えておきます。病院などのよう労働集約型の組織である場合は、増員が働き方改革を解決する有効な手段の一つと考えます。		
14	第4章 6(1)	『高額医療機器の購入は、求めている性能等が必要不可欠なものか、必要以上のものとなっていないか検証する。また、購入後の医療機器は効率的な利用がされているか検証する。』と記載されています。検証を誰が、どんな基準で実施するのかをお示しください。	購入に当たっては、あらかじめ、医療機器の性能や予定症例及び件数などを踏まえて各病院の会議体において検討を行っています。 その後、購入後1年を目安に、利用状況の検証を行い、その後も必要に応じて定期的な検証を継続しています。 購入の検討や検証に当たっては、第三者である医療コンサルティング会社の支援を受けながら、可能な限り客観的な視点を取り入れております。	—
15	第4章 8(1)	海浜病院のR3年度経常収支(見込)は、それまでの実績と比較して、または青葉病院の実績や見込みと比較しても飛躍的に増加しています。その要因は何か説明を記載すべきだと思います。	ご意見のとおり修正しました。 ウ 海浜病院の表の欄外に以下のとおり追記しました。 ※R2年度と比較して、新生児科、小児科をはじめとして、救急科、内科、泌尿器科、心臓血管外科などが相互に連携する総合力の強化が着実に進み、R3年度は医業収支・経常収支ともに大きく改善している。	修正
16	第4章 8(3)	P48及びP49に記載されている表のR4～R6年度の数値は(見込)と表示されています。他のページで(計画)と表示されているので統一した方がよいと思います。	数値目標は「計画」としてしておりますが、P48及びP49は、目標として設定していない項目も含んでいることから「見込」としてあります。	—
17	参考資料 2	海浜病院の医療機関関係数推移表が、青葉病院のそれがH23からに対し、H26年からしか掲載されていない理由を記載してください。	ご意見のとおり修正しました。	修正
18	用語解説 P.63～	用語解説は非常に分かりやすい、簡便で丁寧な文となっています。特に専門用語である医学用語に対しては助かります。願わくは、本文の該当する用語右肩に印(例えば※)を付記していただき、「※印の用語は、用語解説を参照願います」と欄外に付記していただき、内容がさらに理解しやすい本文としていただくことを希望します。	表紙見返しに用語解説の案内を表記しました。 該当する用語の全てに印(例えば※)を付記する場合は、ページによっては※印が連続し、読みづらくなる懸念がありますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。	修正

なお、本案に関係がないご意見については、記載を省略させていただきました。